

様式 1 号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	信越理研株式会社					
代表者名	氏名	服部 俊直		役職名	代表取締役社長	
主たる事務所の所在地	長野市若穂川田3800-10					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	2 4 金属製品製造業				
主たる事業の概要	電子部品、機械部品、自動車部品等 金属素材の表面処理加工					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2, 114	2, 051	2, 055		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4, 351		4, 191		
調整後排出量	t-CO ₂	4, 351	4, 220	4, 191		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0		
自動車の台数	台	9		9		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	12				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022 年度	計画期間	2023 年度～ 2025 年度
報告対象年度	2023 年度		

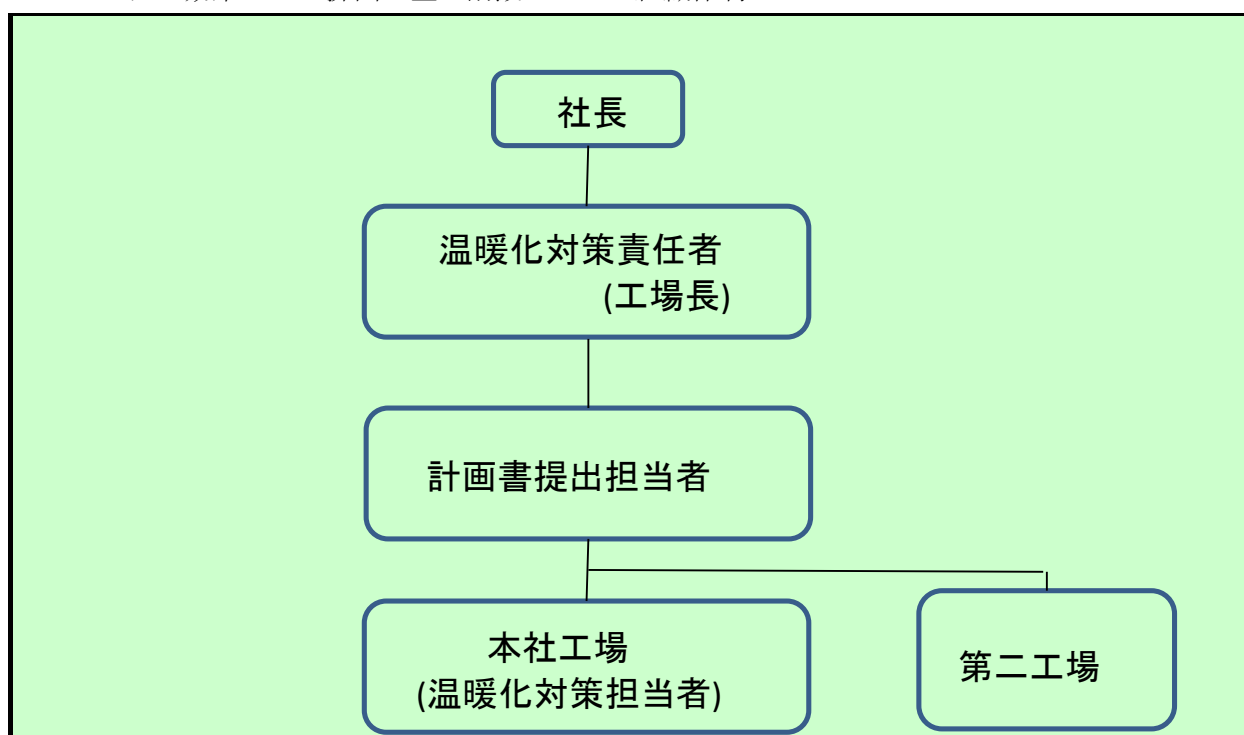
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	場所・・・信越理研株式会社本社工場 時間・・・9:00～17:00 担当部署・・・生産技術部 連絡先・・・026-282-5282
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

当社の活動・製品・サービスの性質、規模、環境影響を考慮して、地球環境・地域環境を大切にすることが重要であることを認識し、環境負荷の少ない事業運営を目指します。 環境管理システムを構築し、継続的改善への取り組みと環境汚染の未然防止に努めます。 この方針に従って環境目的及び目標を設定し、かつ見直します。 1. 省エネルギー 2. CO2の削減 <div style="text-align: right;">(信越理研株式会社環境方針より抜粋)</div>						
2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等						
目標等の有無	無	目標年度		年度	削減目標	
削減計画の概要	生産設備の新規・更新の際は、高効率機器の導入に心掛ける ・再生エネルギー ・LED照明 再検討					
イニシアチブ 参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/> その他		

5 の 1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5 の 2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

会議名称 … 環境管理委員会 開催頻度 … 社長および環境管理責任者の発議によって招集
--

6 の 1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,351	t-CO ₂	稼働時間	13.22	単位	万時間
2022年度	調整後排出量	4,351	t-CO ₂	基準原単位	329.12	t-CO ₂ /	万時間
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	4,220	t-CO ₂	目標原単位	319.25	t-CO ₂ /	万時間
2025年度	目標削減率	2.99	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	第二種エネルギー指定工場の義務として、年1%、3年3%を目標とする。						
第一年度	排出量	4,191	t-CO ₂	稼働時間	11.24	単位	万時間
	削減率	3.67	%	原単位	372.86	t-CO ₂ /	万時間
2023年度	調整後排出量	4,191	t-CO ₂	原単位削減率	-13.29	%	
	削減率	3.67	%				
排出量等の増減理由	CO2排出量が減ったのは生産量の減少で、原単位が増えた理由は製品構成の変動と考えている。弊社原単位の算出は稼働時間を使用している。51条のラインの中には、電力使用量の多い加熱ラインと少ない非加熱ラインと様々で、その差は3～5倍の差がある。近年生産構成が加熱ラインに偏りが目立ち、又、非加熱ラインを加熱ラインに改造し、それに伴い、ユーティリティ設備の増設も実施した事が、削減できなかった理由である。						
第二年度	排出量		t-CO ₂	稼働時間		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	稼働時間		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式 1 号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

6 の 3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量	12	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ⅰ～Ⅱ	Ⅰ-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	Ⅰ-2	エコドライブの励行						
Ⅲ	Ⅲ-1	次世代自動車の導入計画						
Ⅳ	Ⅳ-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	ボイラ	遊休蒸気配管撤去	2023～ 2024			
2	エネ起	ボイラ	高効率蒸気配管(蛇管)設置	2024～ 2025			
3	エネ起	熱源設備	エコキュート室外機の更新に伴う 効率アップ	2023～ 2025			
4	エネ起	生産設備	高効率電動機への更新	2023～ 2025			
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	207	0	207		
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書	千kWh/年					
非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年	31	250	253		
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

様式 1 号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	2	4,351	2	4,191				
合計	2	4,351	2	4,191				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0		

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	4	4		
合計	4	4	0	0
自動車総数	9	9		
次世代自動車導入割合	44.4	44.4		

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	出張時には、公共交通機関の利用を促している。
自転車の利用促進	可能な社員には自転車通勤をお願いしている。
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	当社の立地は公共交通の利用が難しい為、車(タクシーの相乗り)での来社をお願いしている
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	なし
物流の合理化	定期便の利用

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
<input checked="" type="checkbox"/>	SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	2021
<input type="checkbox"/>	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している	
<input checked="" type="checkbox"/>	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している	2018
	名称	ISO14001 : 2015	
<input type="checkbox"/>	グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
<input type="checkbox"/>	ZEB	の認証を取得している	
<input type="checkbox"/>	ダイヤモンド・リスポンス (DR)	電気の需要の最適化に資する措置 (上げDR・下げDR) を実施している	
<input type="checkbox"/>	その他		

1.6 自由記載欄 (特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等)

2023年2月に太陽光発電設備 (207kw) が完成し、発電を開始した。
2023年8月に受電設備を更新、高効率トランス (アモルファス 1500KVA×3 200KVA×1 75KVA×1) を稼働し始めた。